

国際シンポジウム（実験考古学の国際交流）

韓国と日本の 実験考古学と伝統工芸

— 甕棺窯と須恵器窯 —

[主催] 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)木立研究室

[共催] 窯跡研究会

日時

2014年2月23日(日)

13:00-17:50《受付開始 12:30-》

※入場無料・先着順

会場

立命館 朱雀キャンパス 3階
308教室

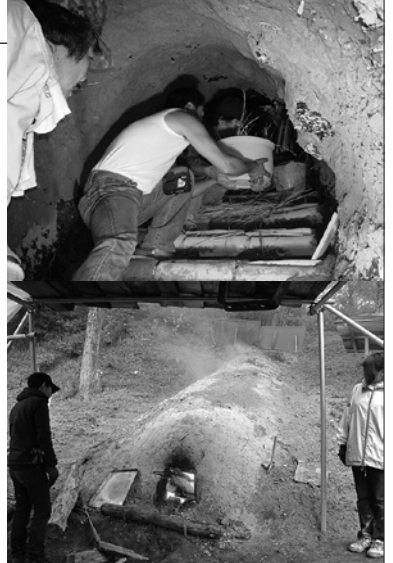


近年、実験考古学と民俗考古学は、考古学研究にとって重要な研究手法として発展しつつあります。韓国国立羅州文化財研究所では、甕棺窯である五良洞窯跡の発掘調査を進め、その成果に基づいた大規模な実験考古学を行い、注目すべき成果を上げています。今回は羅州文化財研究所・田庸昊氏を招き、その成果を学びます。また、日本の窯跡研究会を中心にした研究成果も合わせて紹介し、考古学と民俗考古学における成果、それらと伝統工芸の役割や課題について意見交換を行いたいと思います。



■プログラム

- 12:30 開場・受付開始
- 13:00 あいさつ：木立 雅朗（立命館大学）
- 13:05 **五良洞窯跡の発掘調査と復原**
—— 韓国国立羅州文化財研究所の実験考古学 ——
田庸昊（羅州文化財研究所）
《通訳》松永 悦枝（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター）
- 14:35 韓国国立文化財研究所・湖南文化財研究院による
「百濟土器の製作及び焼成技法研究報告会」に参加して
藤原 学（重要文化財旧西尾家住宅）
- 15:00 休憩
- 15:10 須恵器窯の復原1 —— 早稲田大学本庄キャンパスの実験窯における
焼成結果と自然科学的分析の成果から ——
余語 琢磨（早稲田大学）
- 15:40 須恵器窯の復原2 —— 三木第2号窯の復原と焼成実験
森内 秀造（兵庫県立考古博物館）
- 16:10 実験考古学と伝統工芸 —— 民俗考古学の視点 ——
木立 雅朗（立命館大学）
- 16:30 休憩
- 16:40 シンポジウム 韓国と日本の実験考古学・民俗考古学と伝統工芸
《司会・コメント》菱田 哲郎（京都府立大学）
- 17:50 閉会



韓国と日本の実験考古学と伝統工芸——甕棺窯と須恵器窯——

日時：2014年2月23日（日）

会場：立命館 朱雀キャンパス 3階 308教室

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1（※駐輪・駐車場はございません。公共交通機関にてご来場ください。）

[問合せ先]立命館大学 アート・リサーチセンター事務局 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL:075-466-3411(平日9時~17時30分) E-mail: arc-jimu@arc.ritsumeit.ac.jp

[主催]文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)木立研究室
[共催]窯跡研究会

